

# 電動車いすの仕様(ジョイスティック形・ハンドル形)について

電動車いすはJIS規格上で規定されていて、ジョイスティック形とハンドル形の仕様は、下表の通りになっている。

- ④ ジョイスティック形は主に障害児者利用としてできており、一方ハンドル形は主に屋外利用を想定していて、公共交通機関の利用を想定して設計されておらず、回転半径、重量等の制約から多くの鉄道駅では利用することが困難となっている。⑤今後の取組み末尾参照ください。



## 【標準形(ジョイスティックとハンドル形)との仕様の比較】

	標準形	ハンドル形
回転半径		
全長	最大1,200mm	最大1,200mm
全幅	最大700mm	最大700mm
全高	最大1,090mm	最大1,090mm
回転半径	最小400~900mm程度	最小1,100~1,600mm程度
取っ手(ジョイスティック)	標準的にあり。	基本的になし。

## 【福祉対応のジョイスティック形電動車いすの一事例(平成28年度市民大学講座の講演から)】



- ・雨の日も、夏の暑い日も、☂️をさして行動できる。
- ・自分の意思で、好きなときに動ける。

④ 国土交通省は、平成28年11月16日に約8年ぶりに、第1回「ハンドル型電動車椅子の公共交通利用等に関する調査検討委員会」を開催し、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに備えた動きをしています。⑤今後のスケジュール(予定)は、平成29年2月中~下旬 第2回、平成29年3月上~中旬 第3回調査検討委員会となっていますが非公開、カメラ撮りについては冒頭のみ(議事開始前まで)となっています。